

# 魚の警戒心が下がる夜がチャンス!! ナイトフィッシングで釣果アップを狙え!!



取材協力:株式会社ワズギア 静岡県浜松市南区新橋町1103 TEL 0570-050814 URL <http://www.ysgear.co.jp/marine/>  
ダイイチ名古屋支店 海蔵 愛知県名古屋市熱田区神戸町1001 TEL 052-679-5601 URL <http://www.wan-wan.co.jp>



今回はヤマハ F.A.S.T.26で出撃だ!!



日没後の海上では、右舷・左舷灯が自船の向きを他船に伝える重要な役割を果たしてくれる。



水中ライトが船外機の下から鮮やかな輝きを放つ!!こちらは見た目がとてもカッコ良い!!



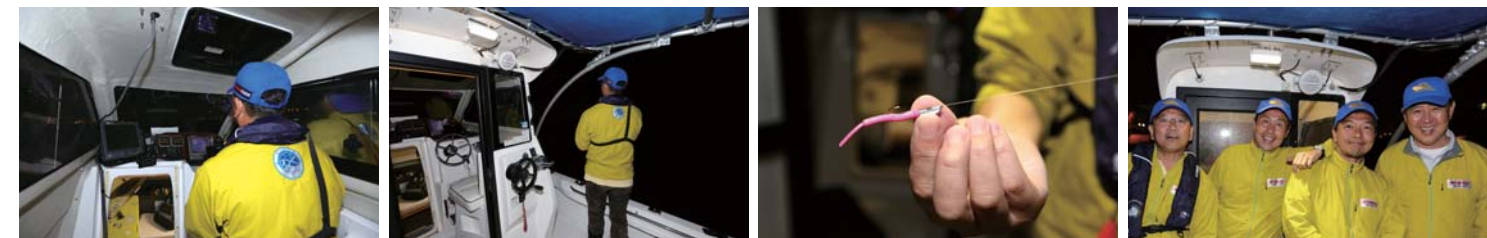
サーチライトがあれば前方の障害物の認識と距離感を正確に把握できる。また、デッキライトで船上を照らす事でデッキ内での移動や仕掛け作りもスムーズだ。



無線やGPS魚探、レーダーも間違いなく必要だ。特に水深は小まめに注意する必要がある。もちろんライフジャケットの必要性は言うまでもない。

ナイトフィッシングという言葉を知ると『怖い』、『不安』と言ったネガティブな表現が出る事がある。しかし、そんなにナイトフィッシングは『怖い』のだろうか?今回はワズギアとダイイチ名古屋支店海蔵にご協力頂き、実際にナイトフィッシング取材した。出航したのは夕方から少しずつ日が落ち始める前だ。ナイトフィッシングであれば仕事終わりに釣りに出掛けられるため、休日の日程や日没時間も気にしなくても良い。むしろ、夕まずめのチャンスタイムも独占できる。更には、日没後は日中警戒心の高かった魚の警戒心が薄れる時でもあるのだ。今回ターゲットにしたメバルも日中は海底付近におり、狙うのは胴突仕掛けを用いる

事が多い。しかし、夜間は名古屋港内の電気回りに付いているベイトを狙って浮いてくる性質があるので、ジグヘッドにワームで簡単にメバリングを楽しめる。実際にやってみるとこれがまた釣れるのだ。あっという間に20匹以上はメバルをゲットする事ができた。今回の釣り方をレクチャーして頂いた海蔵の荻野氏は名古屋港や伊勢湾での釣りを知り尽くした経験豊富な方で、ナイトフィッシングの魅力や注意点についても細かく教えてくれた。まず、魅力はというとやはり釣果がグンと上がる事だ。事実、取材中にも投げれば釣れるという状態が何度もあった。これだけ釣れば、確かにナイトフィッシングの方が面白いとすら思っ



キャビン内もしっかりと明るさを確保。デッキもこの明るさなら安心だ。仕掛け作りもあっという間。最終的にはメバルを中心に4人で40匹以上の釣果を記録。



夕方にコチを立て続けにGET!暗くなるまでに帰港する事を考えない分釣りにも集中できる。夜は魚の警戒心も和らぎ昼とはまた1段階面白い釣りが楽しめる。

まう。実際にオーナーの中には、荻野氏とナイトフィッシングに行きレクチャーを受けて以降、すっかりナイトフィッシングにハマってしまった方も多いようだ。逆に、ナイトフィッシングの注意点はと聞くと、GPS魚探による水深の確認、それから昼に行った事のないポイントにいきなり夜に行く事は危険との答えが返ってきた。日中であればうすらと水面に映る浅い場所を確認できる場合もあるが、夜はまず不可能だ。また、潮の上げ下げでポイントの風景は一変する事もあるので、必ず昼にそ

のポイントを見て状況を把握しておく事が必要のようだ。また、ナイトフィッシングに必要なレーダー、GPS魚探、無線等は是非ワズギアのホームページでも探して欲しい。信頼性の高い製品を揃えた結果、この取材でもどの機器も正確な数値や反応を示し、夜間の自船の位置状況の確認からポイントの状況把握までスムーズに理解できた。こうした必要な装備と知識をもってすれば、ナイトフィッシングは決して危険ではなく、むしろ面白い。今回はそれを十分に理解する事ができた。